

平成23年生駒市教育委員会第2回臨時会会議録

1 日 時 平成23年8月8日(月) 午前9時30分～午前11時14分

2 場 所 生駒市役所 403・404会議室

3 審査事項

(1) 平成24年度使用中学校教科用図書採択について

4 出席委員

委員長 中井公人

委員(委員長職務代理者) 村田浩子

委員 平本重次

教育長 早川英雄

5 事務局職員出席者

教育総務部長 大津輪 幹 夫

教育総務課長 峯 島 妙

教育指導課長 伊 東 英 治

教育総務課課長補佐 吉 岡 秀 高

教育指導課課長補佐 吉 村 茂

教育指導課指導主事 堀 田 勝

教育指導課指導主事 福 田 安 宏

教育総務課庶務係長 松 田 悟

教育総務課(書記) 村 田 充 弘

教育総務課(書記) 松 井 恵

6 その他出席者

教科用図書採択選定委員会委員長 山 中 和 幸

7 傍聴者 18名

午前9時30分 開会

○中井委員長:ただ今から、平成23年生駒市教育委員会第2回臨時会を開催いたします。

~~~~~

○中井委員長:日程第1、本日の臨時会の会期及び会議時間の決定を議題といたします。

本日の定例会の会期は本日一日とし、会議時間を本日午前9時30分から午後5時までとすることを提案いたしますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長:ご異議なしと認め、第2回臨時会の会期は本日一日とし、会議時間を午前9時30分から午後5時までとすることに決定いたしました。

~~~~~

○中井委員長:続きまして日程2、平成24年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

本件につきましては、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号)第2条第9号の規定に基づき審議を願うものであります。なお、4月に教科用図書選定委員会を設置し、調査研究を重ねていただいておりますので、本日の会議には、教科用図書選定委員会の山中委員長に出席を求めています。ご了承の程お願いいたします。

さて、平成24年度以降に使用する中学校教科用図書ですが、教育委員会調査研究用として、過日、事務局から各委員の自宅に教科書が送付され、県の採択基準及び選定資料を基に、それぞれが調査研究を進めてきました。また、6月28日の定例教育委員会終了後に、図書会館の教科書展示会場において、調査研究を実施いたしました。

さらに、選定委員会の種目ごとの調査報告及び各学校の調査研究報告は、7月の定例教育委員会終了後に、選定委員長から文書で報告を受けました。併せて、教科書センター訪問者の意見等についても事務局から報告を受けました。

それでは、これらのことを基に15種目の教科書と特別支援学級が使用する教科書の採択について、個々に審議を行います。

なお、審議の対象となる教科書は、各出版社から教育委員会用、調査研究用及び教科書展示会用として、それぞれに送付されてきたものであり、別紙、資料に示しております。

それでは種目ごとに審議いたします。

【 国語 】

○中井委員長:はじめに国語の教科用図書の採択を行います。教科書は、東京書籍、学

校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版の5社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○早川教育長：どの教科書も、国の検定を受けておりますので、選定は非常に難しいのですが、各教科部会から挙げられた意見等も参考にしながら考えさせていただきました。

私なりに精査しました結果、東京書籍の教科書が良いと思います。

いずれの教科書も、題材の配列及び選択のいずれも大きな差はないように感じましたが、東京書籍の教科書の「論証の組み立てをとらえる」、「質問する反論する」では、日本人にとって欠けているといわれる論理的に議論するための方法が段階を追って分かりやすく示されています。的確な反論の方法が明確で、論理的な議論ができるようにするために効果が高いと考えます。

また、本市は、情報教育推進特区として情報教育に力を注いできましたが、東京書籍では、「プレゼンテーション」、「図表を使って伝えよう」など、これまで培ってきた情報活用能力を育成するための題材も充実していると思います。

○村田委員：早川教育長から情報教育推進特区の話が出ましたが、三省堂資料編の「情報活用編」も小学校の情報で取り上げていた内容を、中学校に発展させたような題材、つまり、生駒市の情報教育推進特区の趣旨に添った題材がならんでいると考えられます。小学校の情報は、独立した「情報」という教科があって成立しましたが、国語という1つの教科の中でこれだけ内容の濃い別冊を、本編とどう組み合わせるのかということになると、教員の負担が大きくなるように思われます。

また、光村図書出版の教科書でも、伝える力を育成する教材は豊富だと思います。選定委員会報告書でも、1年生の「スピーチ・バズセッション・ポスターセッション」、2年生の「プレゼンテーション・パネルディスカッション・インタビュー」、3年生の「スピーチ・説得・ポートフォリオの発表」というように、話す領域に関する学習が系統的に配置されている、と強調されています。

以上のことから、私は光村図書出版の教科書を採択すると良いと考えます。

○平本委員：私も、光村図書出版の教科書は、読み物教材が良いと思います。選定委員会の報告書に「定評ある内外の文学教材に、漱石、鷗外から椎名誠、井上ひさしらも加えて厚みのある豊かな文学的文章がラインナップされている」と書かれていますが、私もまったくそのとおりだと思います。生徒にとって、良き文学作品に触れることは非常に重要ですので、私も光村図書出版の教科書が良いと思います。

○中井委員長：早川教育長が東京書籍、村田委員と平本委員が光村図書出版ということで、このまま採決しますと、光村図書出版の教科書ということになりますが、早川教育

長いかがでしょうか。光村図書出版の教科書を採択するということでよろしいですか。

○早川教育長：光村図書出版の教科書には質問、反論をするための教材が見あたらないので、やはり東京書籍の教科書の方が良いと思います。

しかし、光村図書出版の教科書には、「相手の立場を尊重しよう」、「話し合いの方法」、「説得力のある考えを述べよう」、「話し合いを効果的に進めよう」といった題材にそれぞれ1ページを割くなど、話し合う力を育てるための教材は充実しており、光村図書出版の教科書を採択しても、生駒市の中学生にとっては効果に違いはないと考えます。

○中井委員長：それではお諮りします。国語では光村図書出版が発行する教科用図書を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、国語では光村図書出版の教科用図書を採択いたします。

【 書写 】

○中井委員長：次に書写の教科用図書の採択を行います。教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版の6社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○平本委員：私は、教育出版の教科書が良いと思います。

研修会でも意見が挙がっていたように、はじめに書く目的、心構えを指導できるようになっています。

毛筆の手本が大きく、はじめに楷書の点画の筆づかいを指導するようになっているのも、基本をしっかり身に付けられるという点で、安心して使える教科書だと思います。

また、楷書の学習が終わったところで、「原稿用紙に書く」、「レポートの形式に書く」があり、行書の学習の後では「手紙を書く」、「年賀状を書く」があり、学習を終えたところですぐに実生活に役立てられるような構成になっています。中学生にとって「原稿用紙に書くこと」、「レポートの形式に書くこと」は日常慣れ親しんだ題材であり、学習した内容が身に付きやすいと考えます。

○村田委員：私も、教育出版の教科書が良いと思います。

原稿用紙やレポートの形式は、他の発行者の教科書でも取り上げていますが、教育出版の教科書では、楷書が終わったところで「原稿用紙」、「レポート形式」を取り上げ、

行書の学習の後で「手紙」、「年賀状」を取り上げており、学習をすぐに実生活に生かせる点が良いと思います。

○早川教育長：1年生の3学期以降は行書を使ってさまざまな文字を書いています。各社とも、色紙、ポスター及びエアメールの宛名表記などのほか、のし袋、宅配便の伝票、往復はがきの出欠の返事のしかたなども取り上げていて、実社会に生かせる書写学習となるよう工夫しています。この点では、各社とも大きな差はないと思います。

東京書籍は楷書の後に「夏休みや新学期の目標」、行書の後に「年賀状」を書くという構成になっています。

一方、光村図書は、楷書の後に「暑中見舞い」、行書の後に「好きな言葉を行書で書いて飾ろう」が来ています。

いずれもすぐに発展はしていますが、中学生がすぐに実生活に生かせるという意味では、「原稿用紙」、「レポート」、「年賀状」を取り上げているという点で、教育出版が良いと思います。

○中井委員長：各委員とも教育出版の教科書が良いというご意見でした。それでは、書写は教育出版を採択することでご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、書写は教育出版を採択します。

【 地理 】

○中井委員長：それでは地理の教科用図書の採択を行います。教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社です。研修会での話し合いを踏まえてご意見をいただきますようお願いいたします。

○早川教育長：私は、東京書籍か帝国書院の教科書が良いと思います。

各教科書が取り上げている世界の諸地域は、各社ともに州全体として見る視点に重きを置き、その中で特色的なことを説明している点は同じです。

東京書籍と帝国書院は、世界の6つの地域で各州の冒頭に地形を概観できる地図と気候の特色を表した雨温図を掲載しています。日本文教出版は、地形の外観とその州の主な国の面積や人口・工業製品などの概要を掲載していますが、掲載している国が数カ国であるため、アジア州やヨーロッパ州など国の数が多い地域についてみると、やや物足りなさを感じます。

○村田委員：私は、帝国書院の教科書が良いと思います。

日本文教出版は、世界の様々な調査でロシアを取り上げ、実際に調べたことをまとめて説明する形を取っていて、一様に知識として定着させやすい構成になっていますが、生徒がさまざまなツールや資料を自ら調べて新しい発見をするという点で弱さを感じます。

東京書籍は、インターネットの活用方法や統計資料を活用したグラフの作り方などの調べ方を中心に解説し、韓国を例に挙げ、生徒が自ら学習しようという構成を取っていて説明も詳しく掲載されています。しかし、個々の生徒によって、まとめ方にばらつきが出たりすると、知識として定着しにくいのではないかと思います。

帝国書院は、資料を収集し分析する方法を解説した上で、韓国を取り上げその様子を紹介していて、構成が最も適切であると考えます。

○早川教育長：世界の地域構成や世界各地の人々の生活と環境を概観するページは、各社とも写真・図表を豊富に掲載し、見やすく分かりやすい工夫をしています。帝国書院、日本文教出版は、テーマごとに世界地図を配置していて、生徒にとって分かりやすいのに対して、東京書籍は地元の住民をイラストで登場させ、生活の様子を話させているところは面白いのですが、世界地図が配置されていないので、学習している地域が分かりにくいのではないのでしょうか。

帝国書院は、学習内容の振り返りや習得事項を活用する問いかけとして「チェック＆トライ」を効果的に取り入れています。また、「学習のまとめ」を設け書き込みながら学習内容を確認できるほか、環境と関連付けて自分の考えを整理する活動を取り入れている点が良いと思いますので、総合的に見て帝国書院が良いと思います。

○平本委員：私も、両委員と同様に、帝国書院が良いと思います。

日本の諸地域について、現行の教科書との違いは、すべての地方を取り上げているというところと聞いています。日本文教出版のみが、北海道から九州までの配列を取り、東京書籍、帝国書院は九州から北海道までという配列になっています。テレビの天気予報がそうであるように、感覚的には九州から北海道までの方がなじみやすいと思います。

各章に、作業や地図帳を活用する学習を取り入れている帝国書院が、生徒にとって理解しやすいと考えます。

○中井委員長：それでは、これまでの委員の皆様のご意見から、帝国書院を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、社会科地理的分野の教科書として帝国書院を採択します。

【 歴史 】

○中井委員長：続きまして、歴史の教科用図書の採択を行います。教科書は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7社です。研修会での意見を踏まえてご意見をいただきますようお願いいたします。

○早川教育長：私は、東京書籍が良いと思います。

歴史の流れを整理する上で年表は重要であり、各社とも巻末に折込年表を配置しています。各社とも、縦書きで時代が左側から右側に流れていく形態で、生徒が理解する上で適していますが、その中でも東京書籍の年表は、折込方を工夫して一度に開きやすく、利便性が高いと感じます。また、日本と外国との関係を表す印を入れたり、段階的に起こったことをうまく表したりする工夫もされています。

○平本委員：私も、東京書籍が良いと思います。

人権を取り扱った内容の中で、江戸時代の身分制度で差別を受けていた人々の記述は、各社とも詳しく説明されていますが、渋染一揆や全国水平社の結成について、東京書籍と日本文教出版は、本文中以外にも、「深めよう」や「歴史を掘り下げる」というコーナーで明治時代の解放令以降の部落差別と水平社結成を取り上げています。特に東京書籍の記述が詳しく、「紀伊毎日新聞」に掲載された部落青年の投書や島崎藤村の「破戒」を取り上げ、生徒たちの考えを深めようとしています。

○村田委員：私は、日本文教出版が良いと思います。

学習指導要領にも示されている「我が国の伝統と文化の特色を考え、我が国の歴史に対する愛情と国民としての自覚を育成する」という観点は、国際社会を生きる私たちにとって、今後ますます重要になってくるものと考えます。その上で、郷土や日本の伝統と文化に対する愛着を高めるとともに、人権尊重と平和を希求する意思を育むことが必要となってきます。

伝統文化については、国宝や重要文化財、世界遺産についてロゴマークを付けるなどして、生徒の関心を高める工夫がすべての教科書に見られます。特に、東京書籍と日本文教出版は、それらの写真資料の下に詳しい解説をつけて、その価値や重要性を生徒に分かりやすくしています。日本文教出版は、「文化財を守り伝える仕事」で、九州国立博物館の取組みを紹介し、今に残る文化財を将来に受け継ぐ態度を養うことを意図していて、これは生徒にとって大切な視点であると思います。

○早川教育長：村田委員のご意見もごもっともですが、私はやはり総合的に見て東京書籍が良いと思います。

産業革命以後の資本主義社会における人々の歴史の中で、市民革命によって当時の人々が手に入れた基本的人権について理解することは、現在及び将来に渡って人権を大切にしていくことにつながる重要な内容です。3社ともに、それらについて取り上げていますが、中でも東京書籍は図を効果的に配置し、社会の繁栄とそれを支えた人々の劣悪な労働環境を適切に表し、インパクトのある紙面構成となっています。

○中井委員長：それぞれの委員の皆様のご意見を伺いましたが、お二人が東京書籍、お一人が日本文教出版が良いという意見でした。集約しますと東京書籍ということになりますが、村田委員はそれについていかがですか。

○村田委員：基本的人権という点で、参政権の拡大まで記述している教育出版と、労働者を守る様々な法律がこのときにつくられたことを記述している日本文教出版も踏み込んだ表現であるとも思います。これまでの話し合いの中で、常に東京書籍の名前が挙がっていましたし、東京書籍の教科書が優れているという点に異論はありません。東京書籍が良いと思います。

○中井委員長：それでは、歴史的分野の教科書として東京書籍を採択することに、ご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、社会科歴史的分野の教科書として東京書籍を採択します。

【 公民 】

○中井委員長：それでは公民的分野の教科書の採択を行います。公民的分野の教科書は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7社です。研修会での話し合いを踏まえてご意見をいただきますようお願いいたします。

○平本委員：私は、東京書籍が良いと考えます。

前回の研修会でも申し上げましたが、公民の学習では、生徒たちが社会の一員として実際に生活している現代社会そのものを理解する必要があり、その点では、さまざまな社会事象を取り上げたコラムの数が多い帝国書院や、内容が充実している東京書籍、育鵬社、日本文教出版が挙げられます。

公民の学習の最後にある「持続可能な社会をめざして」等の学習の中で、中学校3年間の社会科の学習のまとめとして、各社とも、論文やレポートを書く学習などを取り上げています。中でも、東京書籍、日本文教出版は様々な課題を提示し、レポートを作成する内容を取り入れていて、さらに、東京書籍はレポート作成の手引きを丁寧に解説していて分かりやすいと思います。

○早川教育長：私は、日本文教出版が良いと思います。

研修会時に平本委員や村田委員から、生徒たちに現代社会のさまざまな事象に気づかせたり、社会の一員としてどうかかわっていくのかを考えさせたりすることが大切であるというご意見がありましたが、私もそう思います。

日本文教出版では、各章末に生徒自らが問題を解決することができる「チャレンジ公民」を設定し、問題解決の方法として、ブレインストーミング、ディベート、ロジックツリーなどのさまざまな学習方法を用いた内容を紹介していて、生徒が体験を通じて問題解決に取り組む上で大変効果的であると考えます。

○村田委員：私も、早川教育長と同じく、日本文教出版が良いと思います。

平本委員のご意見にもあったように、論文やレポート作成では、各社とも作成の手順やテーマ設定の方法などていねいに掲載していますが、中でも日本文教出版は、「レポート作成ナビ」として、論文やレポートの作成の手順を絵や写真で分かりやすく示し、その課題例を多く掲載していて、レポート作成に不慣れな生徒にもよく分かるようになっています。

また、掲載している写真や挿絵、統計資料の数が多く、さまざまな視点から学習を展開できると同時に、論文の作成に有効であると思います。

○早川教育長：日本文教出版は、各学校から提出された調査結果や選定委員会調査報告書からも、学習のポイントが分かりやすいことや随所に記入欄や作業欄があることなどが挙げられ、使いやすいという意見もあります。

また、東大阪市の中小企業の取り組みや尼崎市の地域の活動、西宮市の環境に関する取り組みといった身近な題材が取り上げられていることなども使いやすいということにつながるのではないのでしょうか。

○中井委員長：平本委員、よろしいでしょうか。

○平本委員：結構です。

レポート作成については、日本文教出版も東京書籍と同様に、充実した内容であり、どうしても東京書籍でなければというほどの違いはありません。また、早川教育長のご

意見も納得できるものです。

○中井委員長：他にご意見はございませんか。それでは、公民的分野の教科書として日本文教出版を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、社会科公民的分野の教科書として日本文教出版を採択します。

【 地図 】

○中井委員長：それでは、地図の教科書の採択を行います。地図の教科書は東京書籍、帝国書院の2社です。ご意見をいただきますようお願いします。

○平本委員：私は帝国書院が良いと考えます。

帝国書院の地図は色調が良いのが特徴です。やはり、資料図が中心となる教科書なので、色調は重要であると考えます。

○早川教育長：私も帝国書院が良いと思います。

先日の研修会でも話したとおり、地図の使い方や課題に合わせた調べ方を示している点が良いと思います。

○村田委員：私も、同じく帝国書院が良いと思います。

東京書籍も、分かりやすい編集で発展的な学習内容の工夫など良い点が挙げられますが、資料の豊富さや全体的な構成の良さなど、総合的に見て帝国書院がふさわしいと考えます。

○中井委員長：その他ご意見はございませんか。それでは、帝国書院を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、社会科地図の教科書として帝国書院を採択します。

【 数学 】

○中井委員長：それでは数学の教科書の採択を行います。教科書は、東京書籍、大日本

図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○平本委員：私は、東京書籍が良いと思います。

各社が構成について工夫している中で、東京書籍は、本文の側注に吹き出しや囲み、図解などを示していて、生徒が分かりやすく取り組めるのではないかと思います。

新学習指導要領のポイントの1つである数学的活動については、各社ともさまざまな方面から工夫していますが、特に東京書籍では、章の扉と本文で日常と関連した課題を「Q」マークで示し、数学的活動を促す場面を取り上げています。

また、1年生のおうぎ形の計量については、東京書籍、大日本図書、学校図書、日本文教出版は「空間図形」の中で扱っているのに対し、教育出版、啓林館、数研出版は「平面図形」で扱っています。図形領域全体を考えると、「空間図形」の中で扱う方が生徒の理解度が高まると考えます。

○早川教育長：私は、日本文教出版が良いと思います。

個に応じた指導の工夫として各章末に「B 問題」や「とりくんでみよう」を設けて発展的な内容を取り入れることにより、生徒が自分に応じた問題を、段階を追って選択できるのが良いです。

また、2・3年生に図形の性質のまとめができるワークシートがあり、生徒が既習事項を確認できる点も評価できます。

数学的活動を取り入れた学習の充実を図るために「トライ」を設け、生徒が主体となる数学的活動を支援しているのも良いと思います。

○村田委員：私は、平本委員と同様に、東京書籍が良いと思います。

生徒の興味関心を高め、意欲をもって学習に取り組めることが大切ですが、東京書籍では、「数学の歴史」、「数学のパズル」、「数学のまど」など、学習内容と直結する課題やコラムを紹介する内容が豊富であり、さまざまな方向から生徒の学習意欲を高める工夫がされています。

ノートのとりの指導は、言語活動の充実を図るための工夫の1つです。中でもノートのとりの基本的な注意事項を示している、東京書籍の「数学マイノート」や、ノートの指導に役立つ、啓林館の「ノートのくふう」が丁寧で内容も充実しています。

○中井委員長：これまで、お二人が東京書籍、お一人が日本文教出版を良いとのご意見が出されました。これをもとに採択しますと東京書籍ということになりますが、これまでの皆様のご意見を聞かれて早川教育長はいかがでしょう。

○早川教育長：個に応じた指導やまとめのワークシートなどは、日本文教出版が良いと思いますが、数学的活動や生徒の興味関心に関わる工夫については、平本委員や村田委員のご意見もごもっともです。

東京書籍を採択することに異存はございません。

○中井委員長：今のご意見を受けまして、東京書籍を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、数学については東京書籍を採択することとします。

【 理科 】

○中井委員長：それでは理科の教科用図書の採択を行います。理科の教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○村田委員：私は、東京書籍か啓林館が良いと思います。

基礎・基本の定着を図るため、東京書籍は単元末に「問題」や「チェック」を設定し既習事項の確認ができるようにしています。

啓林館は「本冊」と書き込みができる「マイノート」の2分冊にして生徒が既習事項をまとめやすくしています。また、「マイノート」に「力だめし」を設け、生徒個々の理解度の確認に利用できるようにしている点が良いと思います。

○早川教育長：私も村田委員と同じく、東京書籍か啓林館が良いと思います。

科学的な思考力・表現力の育成を図る工夫として、啓林館では別冊「マイノート」の「スキルアップ」でグラフの書き方や作図技能の向上を図っています。

東京書籍では、自由研究のテーマ例と研究の手順を示しています。また、「科学のとびら」で生活や環境に役立つ例や科学者の功績、さまざまな職業等の資料を掲載し、生徒の興味を促しています。

啓林館では「地域資料集」を設け、全国各地の多様な自然を紹介していて、生徒にとってはなじみやすい内容となっています。

○平本委員：私は、啓林館が良いと思います。

発展的な学習として、東京書籍は「発展」の中で高等学校につながる内容を紹介し、

より高度な知識に興味をもたせる配慮をしていますが、啓林館は「コンピュータ」マークを付けてコンピュータの活用を紹介し、教科書だけの学習だけではなく、情報機器の活用を促していて、生徒にとって取り組みやすい内容になっています。

実験については、啓林館は9種類のマークを使ってより細かな配慮がされていることや、「別の方法でトライ」として、材料や方法を変えた観察・実験を設定し、弾力的に取り組めるように配慮されています。

啓林館の別冊「マイノート」は、基本的内容の定着や既習事項の確認、グラフの作成、作図技能の習得にはかなり有効であると思います。

○中井委員長：委員の皆様のご意見を総合すると、啓林館が良いというご意見が多いように思います。ほかにご意見がないようでしたら、啓林館を採択することとしてよろしいでしょうか。

〈 異議なし 〉

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、理科の教科書は啓林館を採択することとします。

【 音楽（一般） 】

○中井委員長：それでは、続きまして音楽（一般）について採択を行います。音楽（一般）の教科書は教育出版、教育芸術社の2社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○早川教育長：2社とも、新しい曲やなじみの深い曲など、生徒が興味関心をもって楽しみながら学習に取り組めるように工夫されていて良いと思います。

特に、教育芸術社は、研究報告書にも示されているように、基礎・基本の確実な習得という点で、小学校の学習内容の確認やくり返し学習による定着を図る部分が充実していて、スムーズに中学校の学習に入っていけるのが良いと思います。

以上から、私は教育芸術社が良いと思います。

○平本委員：私も教育芸術社が良いと思います。

今回の改訂では、鑑賞を通じた言語活動を取り入れることが大切とされています。その意味から、自分の感じたことや構想を練ることなどをメモする「書き込み欄」がより充実している教育芸術社が良いと考えます。

○村田委員：私も、全体的に教育芸術社が良いと思います。

研修会でも意見が出されましたが、教育芸術社は、学習のポイントを示す学習活動文や生徒が学習内容をメモする「書き込み欄」が充実していることが良いと思います。

鑑賞につきまして、教育芸術社は、巻頭や巻末に音楽全般に関する内容が充実していて、その中にいろいろな演奏家や作曲家の紹介やそれらの思いを伝えるメッセージも掲載されています。

教育出版は、鑑賞のページ全面に写真を大きく扱っていて、演奏家や作曲家の言葉なども取り上げていることや、選定委員会の報告書に見られるように、道徳的なメッセージが含まれた演奏家や作曲家の言葉が掲載されている点は良いと思います。

○中井委員長：その他、ご意見はございませんか。これまでのご意見を伺っていると、教育芸術社を推薦するご意見が多かったように思いますが、教育芸術社を採択することでご異議ございませんか。

〈 異議なし 〉

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、音楽（一般）の教科書は、教育芸術社を採択することといたします。

【 器楽 】

○中井委員長：次に、音楽（器楽合奏）について採択を行います。音楽（器楽合奏）の教科書は音楽（一般）と同じく教育出版、教育芸術社の2社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○平本委員：私は、教育芸術社が良いと思います。

2社ともに、扱っている楽器の種類やその演奏方法などについて写真等で分かりやすく説明して、生徒が自分で演奏する時にも大変参考にできるものだと思います。ただ、楽器は授業中の練習だけでは十分演奏できるようにならないので、生徒が自主的に練習することが大切です。その点で、教育出版の難易度を表す星（★）マークも参考になりますが、学習の目標や学習活動文が充実している教育芸術社の方が、どのような点に留意して練習すれば良いのかなどがよく分かると思います。

○村田委員：私も教育芸術社が良いと思います。

研修会でも意見が出ていたとおり、教育芸術社は写真や文字の印刷が鮮明であり、演奏者や楽器の特徴を紹介した巻頭ページも充実していて、理解しやすくなっています。

○早川教育長：研修会の時にも申し上げましたが、音楽（一般）と同じ発行者の教科書

を採択する方が学習を進める上で関連を図りながら進めることができると思います。

○村田委員：私も早川教育長と同じ意見です。

音楽（一般）を使って学習する内容と（器楽合奏）の学習内容とは当然大きく関わってくるものだと考えます。

○中井委員長：お二人の委員から、音楽（一般）と同じ教科書を採用するべきとのご意見がありましたが、この点について平本委員のご意見はいかがですか。

○平本委員：私も同じ意見です。

これまでの意見から、内容構成や印刷等の点でも教育芸術社が良いとする声が多いことと合わせても、音楽（一般）の採択と合致します。

○中井委員長：ご意見を伺っていますと、全体として教育芸術社を推薦のご意見が多いようですが、教育芸術社の教科書を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、音楽（器楽合奏）の教科書は教育芸術社の教科書を採択することといたします。

【 美術 】

○中井委員長：続きまして、美術の教科書の採択を行います。教科書は開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3社です。ご意見をお願いいたします。

○早川教育長：私は日本文教出版が良いと思います。

開隆堂出版や光村図書出版が絵、彫刻、デザイン及び工芸といった領域ごとに構成されているのに対して、日本文教出版では表現の領域にとらわれず「美術で何を学ぶのか」といったテーマを軸に置いた独自の構成をしていることが良いと思います。この構成は、今回の改訂で、A表現の目標及び内容がこれまでの表現する力を養うことから、それらを通して発想や構想の能力、創造的な力を身に付けることをねらいとしていることに合致しています。

○平本委員：私も日本文教出版が良いと思います。

日本文教出版は、題材構成が良い、生徒作品と芸術作品の写真の数が他社に比べてバランスよく掲載されています。

また、各社とも美術館についての内容を取り上げていますが、中でも日本文教出版は、作品鑑賞、作品保存だけでなく、美術館で働く人についても掲載されている点が良いと思います。

○村田委員：光村図書出版の教科書は題材を提示するところに詩を効果的に取り入れているのが面白いと思います。詩から想像するイメージを制作活動に生かすことができます。

全体的には、日本文教出版の教科書が、生徒にとって身近な題材が多く、展開方法に幅をもたせた設定がされていると思いますので、私も日本文教出版が良いと思います。

○平本委員：開隆堂出版は、発展的な題材や生徒の興味を引く斬新な題材があります。しかし、研修会でも話題になったように、2冊構成のため机上に教科書を広げて製作する時の扱いやすさに課題があります。

○中井委員長：ほかにご意見はございませんか。それでは、お諮りします。委員の皆様のご意見を伺っていますと、日本文教出版を採択する意見が多かったように思いますが、日本文教出版を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、美術の教科書は、日本文教出版を採択することとします。

【 保健体育 】

○中井委員長：続きまして、保健体育の教科書について話し合います。保健体育の教科書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4社でございます。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○村田委員：学研教育みらいが良いと思います。

用語解説や関連情報を注釈やガイドなどで分かりやすく示していますし、イラストや図、写真などが効果的に掲載されていて、配色も良く見やすいレイアウトになっています。

○平本委員：私は東京書籍が良いと思います。

「保健体育の学習方法」を、3ページを割いて掲載している点や、学習内容と関連したクイズを掲載し、学習意欲を高めている点が評価できます。

○早川教育長：私は村田委員と同じく、学研教育みらいが良いと思います。

一つの事象をより深く探究したり、発展的な学習をしたりするという点では、学研教育みらい、東京書籍は課題をうまく取り上げています。特に、学研教育みらいは、興味深い内容で関連ページも示しながら生徒の興味を引き出す工夫がより充実しています。

○村田委員：やはり、学研教育みらいが良いと思います。

各社とも、確認問題などを配置し生徒が学習内容を確認できるようにしていますが、特に、学研教育みらいは、各章末の「学習の確認」で用語の確認や知識を活用した自己評価ができます。

○中井委員長：学研教育みらいと東京書籍でご意見が分かれた形になりましたが、平本委員はいかがでしょう。

○平本委員：研修会の時にも申し上げましたが、写真や図表の効果的な掲載や振返りの工夫、情報教育の充実を図るための手立てなど、いろいろな視点で4社とも配慮があり、差は少ないと感じています。

早川教育長、村田委員が推薦されている学研教育みらいも良い教科書であり、異論はありません。学研教育みらいで良いと思います。

○中井委員長：それでは、これまでの委員の皆様のご意見から、学研教育みらいを採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、保健体育の教科書として、学研教育みらいを採択します。

【 技術 】

○中井委員長：それでは技術家庭・技術分野の教科書の採択を行います。技術分野の教科書は、教育図書、東京書籍、開隆堂の3社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○村田委員：私は開隆堂が良いと思います。

情報教育に関わるコンピュータの基本操作について、東京書籍と開隆堂の教科書では巻末で取り上げられています。中でも開隆堂は、コンピュータの基本操作の参考資料や表計算処理など応用ソフトウェアの内容が充実しています。

○平本委員：私も開隆堂が良いと思います。

章末の学習のまとめなどで、単に知識的なことだけを振り返るのではなく、例えば、環境との関連において得た知識をもとにして考えさせるような振り返り方を求めるなど、言語活動の充実と関連した考える活動があると思います。

○早川教育長：私も、総合的に開隆堂が良いと考えます。

キャラクターを登場させたり、写真、図、イラストなどを効果的に用いたりしてレイアウトされていて分かりやすく、また、家庭分野との関連を示した「Link マーク」や「安全マーク」、技術で学んだことを生活に生かすための例やヒントを示した「生活に生かそう」など、多方面からの配慮があり、全体的にバランスよく構成されていると思います。

○村田委員：研修会の時の皆さんのご意見でも、開隆堂が良いという声が多かったように思います。

他社においてもさまざまな工夫があり、例えば、東京書籍では、「基礎技能ページ」は加工法や作業などの基礎的な技能をまとめて掲載している点で確認しやすくしているなどの特徴がありますが、早川教育長のご意見にもあったように、総合的に見て開隆堂が良いと思います。

○中井委員長：今のご意見を受けて、技術の教科書は、開隆堂を採択してよろしいか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、技術家庭科技術分野の教科用図書は、開隆堂を採択いたします。

【 家庭 】

○中井委員長：それでは技術家庭・家庭分野の教科書の採択を行います。家庭分野の教科書は、教育図書、東京書籍、開隆堂の3社です。ご意見をいただきますようお願いいたします。

○早川教育長：私は開隆堂が良いと思います。

研修会でも申し上げましたが、家庭科は生活に密着した教科として、学習内容を基に自ら調べたり考えたりできるための工夫が重要だと考えます。問題解決的な学習については、開隆堂では、学習の内容ごとの導入課題「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などで生活の具体的な場面を課題として考えられるようにしています。

○平本委員：開隆堂と東京書籍が全体的に良いのではないのでしょうか。

研修会でも意見が出されましたが、東京書籍と開隆堂は、「生活の課題と実践」を4つの内容の後にまとめて示しているの、見やすくなっています。

東京書籍の「ひとロメモ」や開隆堂の「豆知識」に見られるような学習内容に関連した知識や情報は、学習意欲を引き出したり学習内容を広げたりするための手がかりとなります。特に、開隆堂の「豆知識」は興味を引き出す情報が充実しています。

学習内容が弾力的に設定できる工夫もあり、例えば、調理実習の題材が献立料理から単品料理まで設定されていて、実習時間に応じて活用できるようになっています。授業時間数を考えながら計画を立てている教員にとって扱いやすいと思います。

教育図書も写真を多く掲載していることやロールプレイングやインタビューを取り入れるなど言語活動の充実のための工夫が見られますが、やはり、全体として開隆堂と東京書籍が良いと思います。

○村田委員：私も開隆堂が良いと思います。

家庭科は実習を伴う教科なので、安全面への配慮は欠かせないと思います。開隆堂、東京書籍では、「安全マーク」、「衛生マーク」を付けて注意する事柄をまとめていますが、中でも開隆堂は、さまざまな場面で生徒が安全面などをチェックできるようにしているところが良いと思います。

○中井委員長：委員の皆さんのご意見では、東京書籍と開隆堂の良さが出されている中で、開隆堂が総合的に良いとした声が多いように思います。これでいくと、開隆堂を採択するということになりますが、平本委員はよろしいのでしょうか。

○平本委員：私は先ほども申し上げたとおり、開隆堂と東京書籍のどちらも良いと考えていますので、開隆堂に賛成します。

○中井委員長：委員の皆様のご意見から、総合的に見て開隆堂が良いとする意見が多かったため、技術家庭科・家庭分野の教科書は、開隆堂を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、技術家庭科・家庭分野の教科書は、開隆堂を採択いたします。

【 外国語 】

○中井委員長：続きまして、外国語の教科書の採択を行います。発行者は東京書籍、開隆堂出版、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版の6社です。ご意見を願います。

○平本委員：私は決めかねております。

東京書籍、開隆堂、三省堂のいずれも話す、書く、聞く、読む題材が明確に示してあり、単元末ごとに生徒が力を伸ばす場面が与えられますし、先生方も指導しやすいのではないのでしょうか。

また、教育出版の辞書の小単元も、中学生にとって大切であると思います。

○早川教育長：私は、三省堂が良いと思います。

英語の学習ではありますが、世界のことを学ぶ教科でもあります。人権のこと、平和のことにはぜひ触れ、これからの時代を担う子どもたちを育ててほしいと考え、その観点から、3年生の題材を見比べてみました。印象に残った題材は、「カンボジアの人の話」を取り上げた題材（光村図書）、「アンネの日記」についての題材（学校図書）、「地球環境保護」についての題材（開隆堂）、「マザーテレサ」についての題材（開隆堂）、「地雷の話」についての題材（教育出版）、「自然保護」についての題材（教育出版）、「公正な貿易の話」についての題材（東京書籍）、「人種差別」を扱った題材（東京書籍）、「広島原爆」を取り上げた題材（三省堂）、「キング牧師の公民権運動」についての題材（三省堂）、「社会貢献」についての題材（三省堂）、「戦争の話」を取り上げた題材（三省堂）、「世界の貧困問題」を取り上げた題材（三省堂）などです。

三省堂の教科書には、最も人権及び平和の要素が多く、特にキング牧師やローザ・パークスさんの話はアメリカの歴史を知る上でもぜひ触れさせたい題材ですので、私は三省堂が良いと思います。

○村田委員：私も平本委員と同じく決められませんでした。

どれも聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げていますので、1つを選ぶ決め手が見付けられませんでした。

前回の研修会でもお話しました、「教育出版の教科書が辞書を取り上げた小単元を各学年に2つずつ配置している。」こと、「三省堂の教科書が英語圏の学校の事情をよく理解している。」ことなどから、三省堂か教育出版のどちらかの教科書にすれば良いのではないかと考えていましたので、早川教育長の意見に賛成です。学習指導要領でも、題材は最初に「多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと」が必要だとされています。

以上から、私は三省堂の教科書が良いと思います。

○中井委員長：三省堂の教科書が良いというご意見が出されましたが、平本委員、いかがですか。

○平本委員：結構です。

○中井委員長：それでは外国語の教科書として、三省堂を採択することにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、ご異議なしと認め、外国語の教科書として、三省堂を採択いたします。

【 特別支援学級使用教科書 】

○中井委員長：以上をもちまして、15種目の教科用図書の採択が終了しましたが、最後に特別支援学級で使用する教科書についてでございます。選定委員長から調査研究について説明を受けます。

○山中選定委員長：ただ今ご審議いただいた検定済み教科書を使うことは、学校教育法第34条第1項に規定されておりますが、同法附則第9条で、特別支援学級等においては、この教科書以外の教科書を使うことができるとしております。これに基づきまして、特別支援学級の生徒が使用する教科書について調査研究を行ってまいりました。

特別支援学級で使用する教科書は、検定教科書以外に知的障害者用として国語、数学（さんすう）及び音楽の各4種類文部科学省著作教科書があり、今回は国語、数学（さんすう）が教科書展示用として見本本が送付されています。

この著作教科書は、各教科4冊を発達の程度に応じて☆（ホシ）1つから4つで示されていて、☆4つが中学生用の教科書とされています。発達の程度に応じて☆1つから3つの小学生用を使用することも可能となっています。

また、文部科学省著作教科書以外の一般図書として示されている絵本等は選定委員の代表が教科書センターを訪問し、見本本を見てまいりました。

以上を考慮し、第一に、奈良県教育委員会の「平成24年度使用中学校教科用図書小・中学校特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）教科用図書採択基準」において、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）において使用する検定教科書の採択については、当該採択地区で採択されている検定教科書と同一のものを採択することが示されていること。第二に、生徒は特別支援学級担任の個別指導を受けながら、時には交流学級で授業を受けることもあり、他の児童と一緒に学習する場合には、生駒市が採

採択しました各種目の教科書を使うことが必要であると考えていること。さらに、生徒や保護者には、交流学級の生徒と同じ教科書を使いたいという思いや願いもあること。

以上のことから、特別支援学級の生徒も、在籍する当該学年の種目ごとに採択された教科書を使用し、児童の実態等に応じて、下学年の採択教科書を使用したり、附則第9条に規定されています有益適切な教材を使用したりすることが望ましいと考えます。以上でございます。

○中井委員長：ありがとうございました。先程採択いたしました教科書を、特別支援学級においても使用することが望ましいというご意見でございます。それでは委員の皆様にお諮りいたします。特別支援学級で使用する教科書につきましては、ただ今、山中選定委員長から説明を受けたとおり、生徒が在籍する当該学年の種目ごとに採択された教科書を使用することに、ご異議ございませんか。

〈 異議なし 〉

○中井委員長：ご異議なしと認めます。特別支援学級においても、当該学年の種目ごとに採択された教科書を使用することとします。

以上をもちまして、15種目の教科書と特別支援学級が使用する教科書の採択についての審議を終了いたします。

山中選定委員長はじめ選定委員の皆様、調査部会の先生方には、長期にわたり研究を重ね、資料及び報告書を作成していただきました。また担当部署においては、教科書センターを開設し、広く市民のご意見と教科書採択に必要な情報を収集していただきました。この場をお借りして、感謝を申し上げます。

しかしながら、私が申し上げるまでもなく、採択した教科書がどのような教科書であれ、子どもたちにとっての最大の教育環境は現場の先生方でございます。子どもたちが健やかに育つためには、現場の先生方の熱意と努力と研究にお任せするしかないのが現状です。現場の先生方にはどうかよろしく申し上げますとお伝えいただき、子どもたちの学習に、本日採択いたしました教科書を生かされますようお願い申し上げます。

それではこれにて本日の会議を閉会いたします。皆様、長時間にわたる慎重なご審議、ありがとうございました。

~~~~~

午前11時14分 閉会